

HG 競技委員会会議議事録

日時：2023/2/15(水) 21:00～22:30

出席者：牟田園（委員長） 櫻井 鈴木 中西 箕谷(議事録作成) 大沢（担当理事）

※全員 ZOOM での参加

オブザーバ：砂間、大山、村上（PG 競技委員会）、氏家

内容：1. 持ち帰り事項の進捗確認

2. Civil 総会前の認識合わせ

3. その他

1. 持ち帰り事項の進捗確認

(1) 牟田園

- ① 体験会の承認を競技委員会以外に移管する件、井上さんと話を進める予定。委員長会議では振興委員会の井上さんが来ないかもしれないので、話が進まないかも。
- ② 2023 年世界選手権@マケドニアの代表選手選抜
1 月に代表候補者にメールを出して、人数確定、JHF 桜井さんへも連絡済み。
選手会長は、クラス 1：鈴木由路さん、クラス 5：板垣さんに決定。
- ③ フライトコンテストでの気圧高度の補正について、規則の改定は完了。

(2) 鈴木

- ① ポイント大会の出場要件を XCPup にする件は完了済み。
⇒クラス 5 の方も見直す必要があるのでは？(櫻井コメント)
- ② 競技委員会の説明ページを HP に掲載する件は牟田園に相談：2 月中目標
- ③ ハングの歴史編纂、川瀬さんにインタビュー済み
引き続き活動を行う。

(3) 櫻井

- ① FS、GSPDump のバージョンアップ検証は完了済み
- ② 競技委員会 HP の選手権の歴史更新は次の日本選手権後に実施予定。

(4) 中西

- ① 大会受付時のシリーズ登録情報アップデートのやり方は今年度中に考える。
西富士で一部アップデート済み。フラグ更新必要。

(5) 箕谷

- ① 宣言地ゴールのルールたたき台を 3 月前半までに作成して、競技委員会メンバに

共有する。

フライトコンテストに宣言地ゴールを「どじからず」の大会でトライしてみる？

⇒櫻井、牟田園で相談。

2. Civil 総会前の認識合わせ

(1)各資料確認前の質問タイム

①(鈴木)

No.20 の大会ごとに参加者平均の表での人数(2022 年 HGClass1 で 44 人)と、
No.23b カテゴリー2 の参加人数(100 人)で資料間の整合性が取れてない。

(牟田園)

資料を作った人が違うから。予算的な最低ラインとして 100 人は必要。

②(櫻井)

カテゴリー1 上限人数 125 人ルールは何で？

(牟田園)

予算、テイクオフ前の安全性を考慮したエリアのキャパシティによって人数は加減される。

③(鈴木)

提出される議題はそのまま通過することが多い？

(牟田園)

ビューロ（理事会）や部会から出てくる議題は大体通る傾向。
NAC(公認団体)はものによりけり。

④(櫻井)

カテゴリー2 は儲かるけど、カテゴリー1 は儲からないのはなぜ？

(牟田園)

FAI が出す人件費、トラッカーの貸し出し費用がカテ 1 で必要になるため。

(2)各資料の確認

① No. 23

カテゴリー2の申請料が2024年から1.5人分→2.5人分になる。
委員長会議で予算の出所をJHFへ相談する。(牟田園)

② No. 23c

フライマスターがライブトラッカー4Gを今月初旬にリリースした。4GトラッカーはGNSSチップを搭載している。
GNSSを使用することで、測定誤差が数10cm単位になるため、気圧高度ではなく、GNSSで高度の判定に切り替わる。
ライブトラッカー切り替えについて、カテゴリー1は4G使用、カテ2は任意。
日本の競技では、来年は引き続き3Gを使用し、2025年4Gへ移行する予定。
2025/3に3G回線が終了予定、3Gの基地局トラッカーの精度が落ちるようであれば、早期の移行も検討する

③ No. 23e

CTRペナルティーのルールが現状ややこしいため変更の提案。
エアスペースの外側100mから線形に減点、エアスペースに入ると0点とする提案。
本案が通れば、5/1より適用のため、次の世界選も適用予定。
日本での適用については、秋の競技委員会会議で相談とする。

④ No. 23g

デイリーのチームリーダーブリーフィングはHQに集まるのではなく、SNS(テレグラム)を使うという選択肢をオーガナイザーが選択できるようにする、という提案。

⑤ No. 23h

EMSでのエントリー時にスポーティングライセンスが有効かチェックする機能が備わった。

カテ2でスポーティングライセンスの扱いをどうするかハングの競技委員会としての意見は下記の通り。

- ・スポーティングライセンスを持つパイロットにしかWPRSのポイントを与えない？
⇒従来通り持っていない人にはWPRSを付与しない。
- ・スポーティングライセンスを持っているかどうかの確認は大会前？後？
⇒従来通り大会前に確認。有効期限が大会中に切れないか確認する。

カテゴリー2 の大会にはスポーティングライセンスを持っていない人は参加不可。

※EMS を使ってエントリーをすればスポーティングライセンスの有無がエントリー時にわかる。PGの日本選手権ではEMS を使用している。

⑥ No. 33a

アジェールの世界選手権の人数を 125→145 人に変更する提案。

⑦ No. 34c

カテゴリー2 の申請料を天候不良なら返金する提案。

⑧ No. 33h

大会の集計は従来FS を使用していたが、エアスコアに移行するため開発中。

2023 年のカテゴリー1 の大会ではエアスコアを導入する。

日本では 2024 年からエアスコアを使用していきたい。

2024 年 1 月から。秋の紀の川でテスト？

オープンソースだが、クラウドサーバ(費用)が必要かもしれないので、Civl 総会で牟田園が開発者に確認する。

3. その他

(1)世界選

女子の世界選をどうするか、コンプレインが出ている。

シビルの総会でも協議されるはずだが、女子の枠として新規追加はないはず。

日本の選考メンバは変える予定はない。

(2)フライトコンテストレポート

フライトコンテストについて JHF レポートへの記事作成を JHF から依頼された。

⇒レポートを作成する。(櫻井)

-以上-